

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成24年9月27日(2012.9.27)

【公開番号】特開2011-49729(P2011-49729A)

【公開日】平成23年3月10日(2011.3.10)

【年通号数】公開・登録公報2011-010

【出願番号】特願2009-195154(P2009-195154)

【国際特許分類】

H 04 N 5/225 (2006.01)

H 04 N 5/235 (2006.01)

G 03 B 7/095 (2006.01)

G 03 B 17/56 (2006.01)

【F I】

H 04 N 5/225 C

H 04 N 5/235

G 03 B 7/095

G 03 B 17/56 Z

【手続補正書】

【提出日】平成24年8月14日(2012.8.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

撮像素子を有するカメラ装置と、

絞りを含み、被写体からの光を前記撮像素子に導くレンズ装置と、

前記レンズ装置の被写体側に配置されたワイパと、を備える撮像システムにおいて、

前記撮像素子から出力される撮影画像の明るさの変化を減少させる調整機能を備えており、

前記ワイパが作動している際には前記調整機能を停止する、

ことを特徴とする撮像システム。

【請求項2】

撮像素子を有するカメラ装置と、

絞りを含み、被写体からの光を前記撮像素子に導くレンズ装置と、

前記レンズ装置の被写体側に配置されたワイパと、を備える撮像システムにおいて、

前記撮像素子から出力される撮影画像の明るさの変化を減少させる調整機能を備えており、

前記レンズ装置はズーム機能を有し、

前記レンズ装置のズーム位置が閾値よりも広角側の際には、前記ワイパの作動中は前記調整機能を停止させ、

前記レンズ装置のズーム位置が前記閾値よりも望遠側の際には、前記ワイパの作動中であっても前記調整機能による調整を行う、

ことを特徴とする撮像システム。

【請求項3】

前記調整機能は、前記絞りの開口径を調整する機能、前記撮像素子のゲインを調整する機能、の少なくとも一方を含むことを特徴とする請求項1又は2に記載の撮像システム。

【請求項 4】

前記調整機能は、前記撮像システム内に設けられた光量センサー、又は前記撮像素子の出力に基づいて、前記明るさの変化を減少させることを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載の撮像システム。

【請求項 5】

前記調整機能と独立して、前記絞りの開口径を制御する制御機能を備え、前記制御機能が、前記ワイパのワイパブレードが前記レンズ装置の有効径内を通過するタイミングに応じて前記絞りの開口径を広げる、又は前記撮像素子のゲインを上げる、ことを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載の撮像システム。

【請求項 6】

レンズと、絞りと、前記レンズの被写体側に配置されたワイパとを備え、前記被写体からの光を撮像素子に導くレンズ装置であって、

前記撮像素子に入射した光量に基づいて、前記絞りの開口径を調整する調整機能を備えており、

前記ワイパが作動している際には、前記調整機能を停止する、ことを特徴とするレンズ装置。

【請求項 7】

レンズと、絞りと、前記レンズの被写体側に配置されたワイパとを備え、前記被写体からの光を撮像素子に導くレンズ装置であって、

前記撮像素子に入射した光量に基づいて、前記絞りの開口径を調整する調整機能を備えており、

前記レンズ装置はズーム機能を有し、

前記レンズ装置のズーム位置が閾値よりも広角側の際には、前記ワイパの作動中は前記調整機能を停止させ、

前記レンズ装置のズーム位置が前記閾値よりも望遠側の際には、前記ワイパの作動中であっても前記調整機能による調整を行う、ことを特徴とするレンズ装置。

【請求項 8】

前記調整機能と独立して、前記絞りの開口径を制御する制御機能を備え、

前記制御機能が、前記ワイパのワイパブレードが前記レンズの有効径内を通過するタイミングに応じて前記絞りの開口径を広げる、ことを特徴とする請求項 6 又は 7 に記載のレンズ装置。